

cool mid

第一部

英語de落語

2015/2/8

三木山森林公園・音楽ホール



健康管理のため名医（迷医？）のアドバイスを真に受け、吸いたくもないタバコを吸ったとぼけた男の話。



酔狂な旦那が幫間（たいこ持ち）や芸妓舞妓を引き連れて賑やかなピクニック。調子者で欲が深い男の哀れな話。



英語de落語恒例のお客様参加コーナー。
即席演者による小噺。



「tereusuko」とは太鼓の擬音だそうです。時代は江戸、田舎の漁村での珍騒動。まさに有罪！のときに発した男の言葉のとんちに救われた話。

恒例の「英語de落語」は、三木市では初出演の笑福亭縁さん、笑人さんやアメリカ出身の寿演さん、そして、5年連続出演となるイギリス出身のダイアン吉日さんをお迎えし、三木山森林公園で開催されました。まだまだ寒い2月というのに、会場は200名近くの観客で熱気にあふれています。

落語を英語で初めて聞かれる方々から、何度もお運びいただいている方々まで、演者の卓越した話術や豊かな表情やジェスチャーに魅了されておられました。落語の合間のお楽しみは、「大喜利」と「ワークショップ」。テレビの「笑点」さながら、与えられたお題をもとに、演者3名が面白い話をするうちに、座布団替わりのレイの争奪戦になり、大いに沸きました。また、観客の中から男女2名が選ばれ、笑人さんのお手本をもとに、舞台上でインスタント小噺を披露されました。初舞台にしては声の張りもよく、間の取り方も上手く、玄人顔負けでした。

年に1度の開催を心待ちにしてくださっている多くの方々の気持ちにお応えし、「笑いが世界を救う！」の心意気で、今後もこの北播磨の町から世界に向けて発信したいものです。

基本小噺「A Doctor and A Patient (医者と患者)」

P: Doctor! I'm very nervous. This is my first time operation.

患者：先生、とっても緊張しています。初めてなんです。

D: Don't worry. It's my first operation too.

医者：大丈夫。私も初めてだから。

by HOE資料&Showto



一部の英語に耳慣れたところで、萬谷副会長のあいさつで二部の外国人住民によるスピーチが開会しました。発表者は日本語を専攻する留学生、国際結婚の女性、また、遠い母国の現状を心配する男性など4名。それぞれのバックグラウンドは違うものの、三木市内外で生活する方が、学習する中で自分の思いを公の場で話したい、聴いてもらいたいと意識するようになりました。

回を重ねるうちに多くの方が傾聴してくださり、今回も観客の胸を打つような素晴らしい発表となりました。文化や言葉の違う国での困難をものともせず、前向きに馴染もうとする姿勢に感動しました。

このようなイベントが、住民への異文化理解や多文化共生についての意識啓発となり、増加傾向にある外国人との「共に生きる社会づくり」が促進されることでしょう。



日本語 de 発表



「春節」

春節の由来は諸説ある中の一つに、人々に危害を与える獣を退治したことを祝うようになったというものがあります。その時期に母国では爆竹を鳴らし、故郷へ向かう十億以上の人々が大きな荷物を持ち、国内を移動します。今年は元町の南京街で同郷の友人と過ごすことを楽しみにしています。

(2014年9月来日／日本語学習歴3年)



「私が見た日本の子育て」

三木市の男性との間に長男も誕生し、育児を通して家族の絆を感じています。最近、メディアで取り上げられる幼児虐待について憂いを抱いています。私は母親の苦労を見て育ちましたので、今度は母にお返しをする番だと思っています。育児は大変ですが、親としての自覚を持ち、愛情を持ってその役目を果たしてほしいと思います。

(2011年8月来日／日本語学習歴 母国7年・三木市2年)



「念願の日本の祭を見学して」

母国で観た映画「古都」に触発され、日本への留学を決めました。ショッピングモールより神社仏閣の参拝が大好きで、京都に何度も訪れました。祇園祭や地元のみつきい夏まつりで、伝統や文化を継承する人々の姿に多くの学びました。母国で復学後は、日本での経験を活かし、伝統を守る活動をしたいと思います。

(2014年3月来日／日本語学習歴2年)



「戦闘の狭間で」

戦争は、武器製造や調達により富む者、そして、戦禍で国を追われる者の間に大きな不平等を生みます。近隣諸国へ逃げる母国シリアの難民は何百万人にもなっているにもかかわらず、様々な理由により食糧支援もままならなくなっています。私の日本の友人は、シリア女性の刺繡作品をフェアトレードするNPOを立ち上げました。物質的な支援はもちろん、彼らの尊厳を尊重する精神的な支援も重要なと思います。

(2009年来日／日本語学習歴5年)

International people get together!

バングラデシュ出身のタバッスム・ヌスラットさんによる民族舞踊で幕は上がりました。当協会法人・団体会員の国際エンゼル協会は長年、バングラデシュを支援されており、彼女はエンゼル協会バングラデシュ事務所長の長女で立命館大学に留学中です。お母様から譲り受けられた珍しい手織りのサリーを身に着けられ、伝統的な音楽に合わせて踊られました。



ゲストの太神楽曲芸師豊来家玉之助さんが日本伝統芸能を披露してくださいました。傘まわしなどの曲芸のときでは、アメリカ出身のALTがアシスタント役で舞台に呼ばれ、英語での掛け合いになりました。さすが海外公演の経験をお持ちの玉之助さん、和と洋のコラボレーションが見事でした。最後に披露された獅子舞に観客はくぎづけになりました。



宮永会長の開会の挨拶に続き、北井副市長と山本教育部長からご祝辞をいただきました。

有野理事に乾杯の音頭を、司会進行は会員の片山式子、神澤恵美、ALTのクレア・ウォレンティニイ・トマスとエマ・カスバートソンにお願いしました。着物やサリーを着た約13か国、30名の外国人の皆さんには、はにかみながらも日本語で自己紹介をされました。日本語クラスの仲良し小学生も、着物姿でいつになくおすましをして写真に写っていました。



閉会の挨拶では、萬谷副会長がアメリカ人女性起業家の言葉を引用され、日々の中で失敗から学ぶことは多いと話されました。

着物の着付けは岩崎和子さんグループ、お茶席の接待には長池幸子さんグループ、サリーの着付けは中西眞佐子さんグループにお願いしました。ご協力ありがとうございました。



映像製作高木ララと西倉めぐみによる、ハーフたちの手で作られたハーフについての初のドキュメンタリー映画を観賞しました。三木市にお住まいの国際結婚のご夫婦やお子様が参加されました。また、外国人を支援される国際交流関係者も多くご参加いただきました。

映画鑑賞後、三木市在住のALTのクレア先生からスピーチをいただきました。そして、中学生のハーフのメッセージを紹介しました。

ハーフとは？

一般的に「ハーフ」とは片親が「日本人」、そしてもう片方が「外国人」である人を指す。ハーフの語源は、英語の「half／半分」にあり、半分外国人であることを意味する。日本では「ハーフ」という呼び名が70年代に現れ、ハーフの人たちは自己紹介をするとき、通常「ハーフ」という言葉を用いる。

日本のハーフたち

日本政府の統計によると、1980年の国際結婚は5545件。それ以降、国際結婚の数は増えており、2001年にはピークの3万9727件になった。多文化の生き立ちを持つ人たち、すなわちハーフは、劇的に増加している。2004年の国際結婚の数は3万9511件、これは全婚姻数の5.5%にあたる。



「ネパール×日本」

★シュレスタ りさ　自由ヶ丘中学3年生

私は、自由が丘中学3年生のです。私は、ネパール人の父、日本人の母、そして弟、祖父母の6人の3世代家族です。私は、保育園児のころは、あまり気にしていませんでしたが、小学校に入学してすぐ「名前が漢字やないからあそんだらへん！」と言われてよく分からぬけれど、ただ泣きたくて、大泣きして帰った記憶があります。家族は、慰めてくれたり、励ましてくれたりしました。ただ母が「かっこいいと思うねんけどなあ！りさは、ネパールと日本のふたつのステキな国の血をもらってお得やん！いつか楽しくなるから大丈夫！大きくなるほどいいことがあるって！」そう笑っていたことは覚えています。

いやなこともあります。でも、楽しいこともたくさんあります。母は今、NPOとしてカトマンズや三木の仲間の人たちとネパールのハンディキャップセンター、老人施設の方のサポートをしています。大変そうにも見えるけれど、私は今、母と同じことがしたい自分がいることに気づきました。ハーフは、意識しすぎることはしんどいけれど意識すると、たくさんのがいところ、つながりがあることが分かり始めました。

私の夢は、国際関係の機関の事務として働くことです。支えること、コツコツと何かをすることが得意だからです。今は、受験生で最後の勉強に追われていますが、嬉しい報告をみなさんにお伝えできるようにしたいです。



「New Zealand × Japan」

兵庫県立三木東高校外国語指導助手

★Claire Waretini-Thomas

My mother is Japanese and my father is a New Zealander, which makes me a 'hafu'. I truly feel blessed for having mixed blood. I have inherited personal qualities from 2 countries and 2 cultures; this makes me feel very lucky.

I feel that growing up in New Zealand as a 'hafu' was a great experience for me. I was never teased and was always praised and embraced for my differences. New Zealand is a very multi-cultural country where we can see, hear and taste many different cultures and live harmoniously together.

I will be forever grateful to my mother for allowing me to be raised in such a great country.

I have been living in Japan for a year and a half and it's been such a wonderful experience learning about Japanese culture and meeting many kind generous Japanese people. Even though I have Japanese blood I still feel very foreign in Japan. I am very thankful for the Miki International Association for giving me many opportunities to become integrated into the Miki community.

I can imagine that there are some challenges living as a hafu in a homogenous country like Japan. I hope that with more awareness on the issue, there will be more understanding and acceptance.

私の母は日本人、父はニュージーランド人です。つまり、私はハーフです。私は混血であることに対する感謝しています。2つの国々の文化の特性を受け継いでいるからです。幸運なことだと感じています。ニュージーランドでハーフとして育ったことは素晴らしい経験でした。いじめられたこともなく、いつも認められ、むしろその違いを喜んでいました。ニュージーランドは異文化を見聞きし、味わい、調和の取れた多文化の国です。私は母がそのような素晴らしい国で私を育てくれたことをうれしく思います。

三木市に住んで1年半経ちます。その間に日本文化を学び、親切な人々との出会いなど、素晴らしい経験をしました。日本人の血は流れていますが、日本では外国人であると感じます。三木の人々と出会う機会を与えてくれた三木市国際交流協会には感謝しています。

日本のような単一民族（同一の人々）の中でハーフとして生活することは、難しいのかもしれません。このことについてもう少し意識していただくと、理解や受け入れが進むでしょう。



国際料理教室「中国の家庭料理」

2015/2/22

南交流センター

日本語クラスで学習されている中国出身のご婦人2名が、母国の家庭の味を教えてくれました。メニューは、**水餃子**、**麻婆豆腐**、**手羽のコーラ煮**の3品、デザートには**月餅**と**ジャスミン茶**をいただきました。麺棒で餃子の皮を伸ばし、様々な香辛料で味付けし、本格的な中華料理が出来上がりました。

参加者は、中国出身者5名、ペルー出身者6名、タイ出身者3名、韓国出身者1名、日本人22名、総勢37名でした。そのうち、男性参加者は9名でした。



日本語ボランティア育成研修会

2014/12/21・2015/1/14・2/4・3/4

教育センター

講師：市川千明先生

日本語クラスの外国人学習者は、会話が難しい人から資格試験を目指す人まで、目的は様々です。その方々を支援するための**日本語ボランティアの心構えや指導法**を学びました。

市川先生は長年の経験に基づいて、交流のための言語習得の必要性を様々な事例を示して説明してくださいました。日本語は奥が深く、研修会の度に新たに学ぶことがありますので、外国人学習者の支援がしっかりできるように、研修の継続が重要であると認識しました。



日本語クラスの仲間たち

A1299◆木谷 真子

(日本語ボランティア歴3年)



A1467◆熊川 晴美

ペルー出身
日本語クラス在籍歴2年

私は2人の小学生の母親です。日本語がわからない頃は、子どもたちの宿題を捨ててしまったこともあります。でも、日本語クラスで学習を始め、先生と漢字の練習や日本についての本読みなどをするうちに、いろいろな国の人と友達になりました。みんなでインターナショナル女性クラブを作って、この三木市で日本人と仲良くなりたいです。

俳句展示

2015/2/2~8

市役所プロムナード

6月に日本語クラスの日本文化体験の一環で、**井口徹氏**に俳句指導をしていただきました。日本語ボランティアのサポートもいただき、個性的な作品に仕上りました。

小学生や彼らの母親、実習生&研修生、ALTやビジネスマンなどの芸術的な筆遣いの作品が並び、来庁者の目に留まりました。



ジョイントミーティング

2015/3/1

教育センター

ことばの教室受講生が一同に会し、1年の成果を披露い合いました。英語、韓国語、中国語、スペイン語、そして、外国人対象の日本語クラスの約100名が、昨年大ヒットした「ありのままで」の韓国語の合唱、クイズやストーリーテリングなど、生き生きと発表されました。日本語クラスの外国人による「世界のクイズ」では、異文化理解のきっかけとなりました。日ごろは接点のない他のクラスとの交流を存分に楽しみました。

英会話入門



【Guess the Song Title/Spring of Trivia】

英会話初級



【Riddles & Quizzes】

中国語入門



【中国の謎クイズ】

英語表現活動クラス



【Chatterbox～おしゃべりさん～】

韓国語中級



【三年峠のリーディング】

韓国語初級



【ありのままで】

スペイン語



【ペルーの紹介】

中国語初級



【練功十八法～中国の健康体操～】

韓国語入門



【韓国語で自己紹介と文化の話】

英会話中級



【Pub Quizzes】

日本語



【世界のクイズ】

「世界のクイズ」

- | | |
|---------|--------------------|
| ①中国編 | 中国的シンボルカラーは何色？ |
| ②ペルー編 | マチュピチュが発見されたのは何年前？ |
| ③ロシア編 | 暑いときの飲料水は何？ |
| ④韓国編 | 世界で唯一の国連の墓地のある都市は？ |
| ⑤タイ編 | 国王の色は何色？ |
| ⑥スリランカ編 | 隣国はどこ？ |

▶▶▶ 答えはP 8をご覧ください

多文化共生社会を目指して

2015/2/15

三木山森林公園

三木市商工会議所青年部 YEG (Young Entrepreneur Group・青年起業家グループ) のご厚意で、約30名の日本語クラス学習者と約10名の日本語ボランティアが2月例会に参加させていただきました。

まず、緊張をほぐすためのアイスブレイキングゲームをしました。次に、三木市の産物を頂いた後、それがそれぞれの母国で販売可能かどうか、難しいようならその改善策について話し合いました。もちろん共通言語は日本語でしたが、YEGの方々は外国人学習者の意見に熱心に耳を傾けてくださいました。また、外国人は自分の言語能力をフル活動させ、質の高い討論ができ、最終的には、グループごとのお国柄を反映した結果を発表することができました。

限られた時間でしたが、face-to-face(面と向かって)で語り合う中で、親近感が生まれ、次回の開催予定を約束する姿が見えました。双方が一歩ずつ歩み寄り、三木市の製品の良さを認識してもらい、それを母国へ発信する機会にもなりました。多文化共生社会を促進するための協力関係を持続することが重要だと認識しました。



プレゼントを
ありがとうございました

いろいろな国
の人と話せて
楽しかった

日本語が
難しかった

もう少し頭を
使うゲームも
したかった



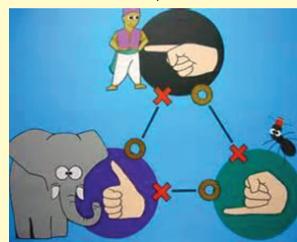
料理が
おいしかった

次も絶対
参加する



*アイスブレイキングゲーム

(インドネシアのじゃんけん)
親指(ゾウ)、人差し指(人)、小指(アリ)で勝負。
ゾウは人に、人はアリに、アリはゾウに勝ちます。



■アリがゾウに勝つ理由■

- ①アリがゾウの耳に入りかゆくて払い落とせないから
 - ②アリがゾウの足を噛むから
 - ③アリが落とし穴を掘ってゾウを落とすから
- …など諸説あり



姉妹都市バイセリアからこんにちは!!!

2015/2/10~2/19

丸木 愛実 (大学1年生・2011年度市民訪問団員)

私は、2月10日から約1週間、三木市の姉妹都市である、アメリカ・カリフォルニア州のバイセリア市に行ってきました。3年前の高校1年生のときに一度、姉妹都市交流プログラム「市民訪問団」の一員として訪れたことがあり、そのときのホストファミリーと帰国後も交流を続け、今回もお世話になりました。

個人的な旅行でしたので、一日中ホストファミリーと過ごし、現地の日常生活により深く触れることができたように思います。また、ラスベガスや太平洋岸など、色々な場所に連れて行っていただき、たくさんの楽しい思い出ができました。その中でも、特にホストマザーと過ごした時間が一番多く、色々なお話をしたことがとても印象に残っています。次第に耳は英語に慣れ “ことばの壁” はほとんど感じなくなっていました。しかし、現地の人々から聞かれることに応対はできるものの、自ら聞くことをしませんでした。そんな引っ越し思案な私を見るに見かねたホストマザーが、「英会話の上達を望むのなら、自ら進んで話しかけるようにしなさいね」と忠告してくれました。

最終日には市議会でも少しスピーチさせていただき、感謝の気持ちを伝えました。三木市とバイセリア市の交流がより盛んになることを願っています。



「ことばの教室」受講生募集!

	クラス名・年間回数	講 師	曜日・時間	初回	内 容	受講料 (年会費込み)
1	英会話実用 30回	外国人講師	月・19:00	5/11	会話力のブラッシュアップ	30,000円
2	韓国語入門 30回	佐野 潤貞	火・13:00	5/12	入門・初級学習者 テキスト	30,000円
3	韓国語初級 30回	崔 英叔	火・19:00	5/12	初級・中級学習者 テキスト	30,000円
4	韓国語中級 30回	佐野 潤貞	火・19:00	5/12	日常会話・リスニング テキスト	30,000円
5	英会話中級 30回	エマ・カスパートソン	火・19:00	5/12	日常会話・英検準2級程度	30,000円
6	英会話初級 30回	デヴォン・モルゲン	水・19:00	5/13	日常会話・英検3・4級程度 テキスト	30,000円
7	英会話入門 30回	新田 俊子	木・10:00	5/14	入門・初級学習者 テキスト	30,000円
8	中国語入門 30回	市川 佳佳	木・19:00	5/14	英字 入門学習者 テキスト	30,000円
9	中国語初級 30回	山口 玉花	木・19:00	5/14	初級・中級学習者 テキスト	30,000円
10	スペイン語 30回	外国人講師	金・19:00	5/15	日常会話 テキスト	30,000円
11	英語表現活動 17回	河越 恒子	第1.3.5金・10:00	5/15	朗読・チャンツなど応用 テキスト	17,000円
12	News in English 15回	倉橋 哲雄	第2.4水・19:00	5/13	英語ニュースの聴解・読解など	15,000円
13	外国人対象 日本語全般 30回	ボランティア	月・19:00	5/11	会話の練習・読み書き ペア学習	2,000円

年会費のみ

■授業／90分・教育センター

■1クラス定員20名(先着順)

■5名未満のとき開講できない場合があります

申し込み期限：4月17日(金)

*申し込み、お問い合わせは TEL：(0794)89-2318 FAX：(0794)82-9755
三木市国際交流協会まで E-mail：kokusai@city.miki.hyogo.jp

三木市国際交流協会総会

10:00 総会
10:50 演奏会

入場無料

内モンゴル出身 劉偉氏
(中国民族歌手・民族楽器の奏者)



5/22(金)
教育センター4階・大研修室

第1回国際理解講座 「国際交流をしよう!パート2」

外国人による

お国紹介&ワークショップ

6/7(日) 13:30

教育センター4階・大研修室



別所公春まつり
武者行列

集合・出発 釜城館
5/5(火・祝)

外国人参加者募集中!

! P6「世界のクイズ」の答え ①赤色 ②約100年前 ③クワス ④釜山 ⑤緑色 ⑥インド

編集あとがき



2014年度も会員の皆様のご支援、ご協力を得て、さまざまな事業に取り組むことができました。新規事業としては、多文化共生への意識啓発のために、三木市民の皆様と外国人住民の交流の機会を増やしたこと、そして、外国人が住みよいと感じる環境づくりのための防災、医療、環境の分野における翻訳活動やセミナーなどです。特に「やさしい日本語、わかる日本語」の研修会には日本語ボランティアを始め、多くの一般の方々にもご参加をいただきました。

また、久しぶりの姉妹都市交流では、オーストラリア・コロワ市の学生訪問団を受け入れ、国際交流の醍醐味を味わいました。青少年の皆様が海外へ目を向ける機会となり、個人的な交流に繋がりました。

活動に参加される外国人会員も増え、新たな出会いや学びがあり、実りの多い一年となりました。ありがとうございました。新年度もどうぞよろしくお願いします。

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] http://www.city.miki.hyogo.jp/